

トピックス

○インフルエンザの報告数が増加しています。

管内定点医療機関からの報告数は2022年について、第44週～第52週に計12件の報告がありました。2023年に入り第1～第4週までに83件と報告数が増加しています。

定点あたり報告数については、2023年第4週について県全体は7.54(人)、管内は3.20(人)となっています。また、国が定める注意報の基準値は定点あたり報告数10.0人とされています。

下記ホームページも参考にして、予防対策の確認等にお役立てください。

<https://www.pref.chiba.lg.jp/shippei/kansenshou/influenza/influenza-yobou.html>

(千葉県ホームページ:インフルエンザから身を守ろう)

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekkaku-kansenshou/infuleenza/index.html

(厚生労働省ホームページ:インフルエンザ(総合ページ))

○感染性胃腸炎の集団発生の予防について

冬場における患者数の増加により、保育園、幼稚園、社会福祉施設等での集団発生が増加するおそれがあります。下記ホームページも参考にしていただき、予防対策の確認等にお役立てください。

<https://www.pref.chiba.lg.jp/shippei/kansenshou/gast/index.html>

(千葉県ホームページ、ノロウイルスなどによる感染性胃腸炎にご注意!)

<https://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou19/norovirus/>

(厚生労働省ホームページ、感染性胃腸炎(特にノロウイルス)について)

○サル痘患者の発生について

県内において、2例目のサル痘患者の発生がありました。

<https://www.pref.chiba.lg.jp/shippei/press/2022/sarutou20230126.html>

(千葉県ホームページ:サル痘患者の発生について(令和5年1月26日))

疾患に関する情報は下記ホームページをご覧ください。

<https://www.pref.chiba.lg.jp/shippei/kansenshou/sarutou2022.html>

(千葉県ホームページ:サル痘について)

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou19/monkeypox_00001.html

(厚生労働省ホームページ:サル痘について)

○管内医療機関から梅毒の発生届がありました。

2023年第5週に管内医療機関から梅毒の発生届がありました。全国的に報告数が増加しています。

一般社団法人 日本性感染症学会が開催した、医師等を対象とした梅毒に関する緊急セミナー「梅毒を知る～梅毒の急増を止めるために～」の講演動画がオンラインで公開されています。下記ホームページからアクセスできますので参考にしてください。

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekkaku-kansenshou/seikansenshou/syphilis.html

(厚生労働省ホームページ:梅毒)

1 新型コロナウイルス感染症について

＜千葉県ホームページより＞

1) 千葉県内で確認された感染者数 (令和5年1月31日現在)

累計感染者数	入院中	重症	死亡
1,427,884	1,649	20	3,557

※9月26日に開始した発生届の限定化に伴い、感染者状況(現在の感染者数、自宅療養者数等の一部データは公開を終了しています。

2) PCR検査実施状況 (令和5年1月28日現在)

累積検査実施人数 (陰性化確認検査を除く)	直近1週間の検査人数
3,630,110	37,810

※県衛生研究所並びに保健所、医療機関及び民間検査機関等(千葉市、船橋市、柏市含む)における実施分の合計です。

※検査人数はPCR検査及び抗原検査の結果が含まれます。

※速報値のため、後日修正となる可能性があります。

◎千葉県発熱相談コールセンター

電話番号:0570-200-139

対応時間:24時間対応、土日祝日含む

2 2023年 管内の感染症発生状況

管内の医療機関から、5類感染症は、第5週に梅毒の発生届がありました。

● 管内の全数把握感染症情報 ● <類別・疾患別集計表>

区 分	累計 (2023年 発生分)
1 類感染症	0
2 類感染症	0
3 類感染症	0
4 類感染症	0
(※管内居住の患者数)	
5 類感染症 (※管内医療機関からの届出数)	1(梅毒)

● 管内定点把握対象疾患 ●

疾患名 (インフルエンザ及び小児科定点疾患)	2023年 1週~4週 の累計	直近4週の届出数			
		1週	2週	3週	4週
1 インフルエンザ(鳥インフルエンザ及び 新型インフルエンザ等感染症を除く)	83	25	21	21	16
2 RSウイルス感染症	0	0	0	0	0
3 咽頭結膜熱	1	1	0	0	0
4 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1	0	0	0	1
5 感染性胃腸炎	2	0	0	1	1
6 水痘	2	0	1	1	0
7 手足口病	0	0	0	0	0
8 伝染性紅斑	0	0	0	0	0
9 突発性発しん	0	0	0	0	0
10 ヘルパンギーナ	0	0	0	0	0
11 流行性耳下腺炎	0	0	0	0	0

<参考>夷隅健康福祉センター管内の定点医療機関は、

インフルエンザ定点 : 5 医療機関

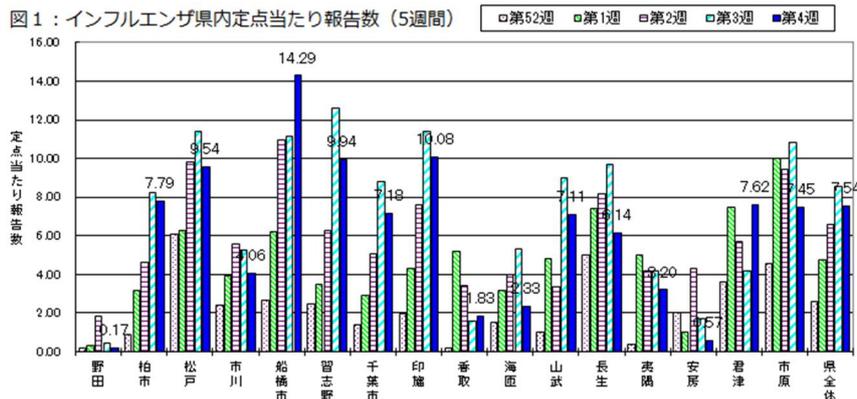
小児科定点 : 3 医療機関

の協力を得ています。

【今週の注目疾患】(千葉県感染症情報センター—2023年4週より)

《インフルエンザ》

2023年第4週の県全体のインフルエンザ定点当たり報告数は、前週(2023年第3週)の8.46(人)から減少して7.54(人)となった。保健所管内別では船橋市14.29(人)、印旛10.08(人)で国が定める注意報の基準値(定点当たり報告数10.0人)を上回った(図1)。2023年第4週に報告のあった計1590例のうち、A型1407例(88.5%)、B型22例(1.4%)、型非鑑別キットで陽性71例(4.5%)、検査未実施(検査実施未確認例含む)90例(5.7%)であり、A型が多かった。



2022/2023 シーズンの基幹定点医療機関を対象としたインフルエンザ入院サーベイランスによる入院患者総数は2022年第52週までは0~2人で推移していたが、2023年第1週以降は3~5人で推移しており増加傾向がみられている¹⁾。また、2023年1月29日時点で県内医療機関よりインフルエンザウイルスAを病原体とする急性脳炎の届出が2例あった。

2023年第3週時点で全国の定点当たり報告数は9.59(人)であった。近隣都県の定点当たり報告数は、埼玉県7.09(人)、東京都8.50(人)、神奈川県8.86(人)であった。

インフルエンザは、38℃以上の発熱、頭痛、関節痛、筋肉痛、全身倦怠感等の症状が比較的急速に現れるのが特徴である。小児ではまれに急性脳症を、高齢者や免疫力の低下している者では二次性の肺炎を伴う等、重症になることがある。高熱が続く、呼吸が苦しい、意識状態がおかしいなど具合が悪ければ早めに医療機関を受診されたい。また、小児、未成年者では、インフルエンザの罹患により、急に走り出す、部屋から飛び出そうとする、ウロウロと歩き回る等の異常行動を起こすことがある。自宅で療養する場合、インフルエンザと診断され治療が開始された後、少なくとも2日間は、小児・未成年者が一人にならないなどの配慮が必要である²⁾。

インフルエンザ予防のため、ワクチン接種と引き続き基本的な感染対策の徹底を心がけていただきたい^{2,3)}。

■参考

1)千葉県：インフルエンザ情報

<https://www.pref.chiba.lg.jp/eiken/c-idsc/documents/202304influenza.pdf>

2)厚生労働省：令和4年度インフルエンザQ&A

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekkaku-kansenshou/infuleenza/QA2022.html

3)千葉県：インフルエンザから身を守ろう

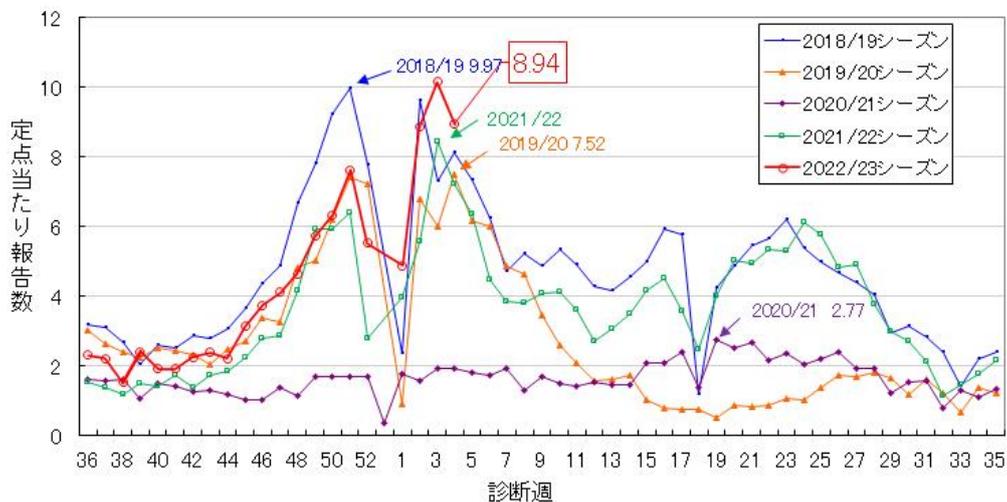
<https://www.pref.chiba.lg.jp/shippei/kansenshou/influenza/influenza-yobou.html>

《感染性胃腸炎》

2023年第4週に県内定点医療機関から報告された感染性胃腸炎の定点当たり報告数は、前週(2023年第3週)の10.17(人)から減少し、8.94(人)となった。前週は過去5シーズンで最も高い定点当たり報告数となり、今週も第4週としては過去5シーズンで最も高い定点当たり報告数となった(図2)。保健所管内別では、船橋市14.09(人)、印旛12.06(人)、香取11.33(人)からの報告が多かった。

今シーズンは県内でノロウイルスやサポウイルスによる感染性胃腸炎集団発生事例が複数報告されている。感染性胃腸炎は多種多様な病原体の関与が想定され、一定の疫学パターンをとらないことが予想されるが、例年ウイルス性、特にノロウイルスやサポウイルスによる流行が冬季にピークを形成する(図2)。今後も報告数の多い状況が続くことが予想されることから、感染対策を徹底されたい。

図2：千葉県の流行シーズン別感染性胃腸炎定点当たり報告数



現在ノロウイルス・サポウイルスによる感染性胃腸炎に使用可能なワクチンはなく、感染を予防するためには、食品類の十分な加熱、石けんと流水による手洗いの励行、嘔吐物・糞便等の迅速かつ適切な処理(飛散しないようペーパータオル等で静かにふき取る、市販の凝固剤等を使用する等)および次亜塩素酸ナトリウムによる汚染区域の消毒が重要となる。手指に付着しているウイルスを減らす最も有効な方法は石けんと流水による手洗いである。調理や食事の提供を行う前、食事の前、トイレの後は必ず手洗いを行う。また、手袋をしている場合であっても、嘔吐物・糞便等の処理やオムツ交換を行った後は必ず手洗いを行うことが重要である⁴⁾。現在、新型コロナウイルス感染症の感染予防策として、消毒用エタノールによる手指消毒が推奨されているが、ノロウイルスは消毒用エタノールのみでは効果が期待できないことから、石けんと流水を用いた手洗いの代用にはならないことに注意する必要がある。

■参考

4) 厚生労働省:ノロウイルスに関するQ&A

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/shokuhin/syokuchu/kanren/yobou/040204-1.html

感染症情報の受信先設定について

日頃、感染症対策の推進に御協力いただきありがとうございます。

【連絡】登録アドレスの廃止、変更等は連絡願います。

【利用にあたっての注意】

『夷隅感染症情報』の感染症の説明等は主に公的機関の情報を基に作られ、できるだけ最新で正確なものを発信するよう努めておりますが、御利用に際しては、利用機関の責任において御使用ください。また、メールの安全性についても県庁のネットワークシステムの一環として安全性の確保を図っておりますが、受信先におきましてセキュリティ等の注意をお願いします。

※このアドレスは送信専用です。お問い合わせの際には下記まで御連絡ください。

<配信元>千葉県夷隅保健所

【お問い合わせ先】

isumiho3@mz.pref.chiba.lg.jp
